

# F A X 通信

2022年9月1日発行 No. 03-102 From KOTANI

ホームページ <http://www.kotanikk.com>

## 新シール概論（2）シールについて（5）（特別号）

さらに話は続けます。多い質問ではやはりシールの選定についてです。

基本的には、規格されているシール製品やカタログアイテムになっているものをまず、選定の基準になります。

理由は明確ですが、新たなシール設計をした場合には、ゴム部品があれば、新規に製造するための金型が必要になることがどうしても多くなります。

シール用金型は製品の大きさや形状により、また製造数の大小によりますが、取り数などにより、異なりますが、約20万円以上が掛かります（諸条件によりますが、50万円以上になる場合もあります）。

金型を作成すると初期に費用がかかり、どうしても新規のシール製品の価格に影響します。

この点、カタログアイテムになりますと、シールメーカーが既に金型を作成済ですので、初期の金型費用は無く済みます。

この点のメリットは大きいです。また、製品には在庫品も準備されている場合もあるので、納期の問題はあまり気にする必要はありません。

その他、カタログ品でも異なるゴム材料で製造しますと正規の寸法にならない場合もあるので、注意が必要です。

このような場合には時々問題になるのは、メーカーは相当寸法で製造しますとの説明があり、客先に予め了解を得る必要があることがありますので、メーカーの言い分を参考に使用可否などを検討することになります。

同系統のゴム材料では、特に問題は少ないですが、例えば、正規の製品がNBRである場合にFKMで製造しますと、ゴムの製造時のゴムの収縮率の違いで、径方向などでは大きな変化が生じるので、無理な場合が多いようです。

以前にこの相当寸法で揉めた場合が多々ありました。ユーザはどうしても金型費用を出したくなく、既存の金型で製造を希望されると先ほどの問題点が浮き彫りになり

ます。

なお、金型を必要としない場合の製品ではこのような問題はありません。

しかし、実際にはこのようなケースは少なく、常に金型が問題になることが多いようです。

シール製品で製作して作成する製品群はこの点は楽で、常時新規製品への対応が図れます。

最近では、試作などでは、金型を製造せずに、製品を切削して作成して評価試験などを実施してから量産に移る場合も多くなりました。

シール選定については、病院のカルテ等のようなものを作成して諸条件を漏れなく、記載して、メーカーと相談することをお勧めします。この諸条件が実は、問題がありまして、ユーザで常識とメーカーの常識が一致せず、抜ける場合があります。

昔の話ですが、自動車関連のシールの材料を開発中に耐オゾン性がメーカーでは、抜けて、途中で仕様に追加した場合があります。このようなことが無いように万全を期すことが求められています。（続く）

### 取扱い製品について

NK リング：ふっ素ゴムをふっ素樹脂で被覆した画期的なOリング

コードリング：英国 NES 社の誇るふっ素ゴムつなぎOリング

TESNIT：スロベニア DONIT TESNIT 社製の高品質ジョイントシート

その他の各種シール製品

以上の詳細はホームページに記載していますので、是非ご覧ください。カタログや技術資料は、ご要望がございましたら下記の本社宛にご一報ください。

コタニ株式会社

本社：神戸市中央区浜辺通 2-1-30

TEL:078-251-5300 FAX:078-251-5307

FAX 通信の記事についてのご意見や質問がございましたら下記の担当者に連絡ください。（担当：根本）